

令和6年度使用小学校教科用図書調査研究 観点(案)

資料1-①

<参考>

調査専門委員研究用 観点		学校調査用 観点		県調査用 観点	
1	「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実	1	「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実	1	学習指導要領との関連
2	学習指導要領との関連	2	学習指導要領との関連	2	「あいちの教育の基本理念」との関連
3 内容	(1) 内容の選択	3 内容	(1) 内容の選択	3 内容	(1) 内容の選択
	(2) 内容の程度		(2) 内容の程度		(2) 内容の程度
	(3) 内容の構成		(3) 内容の構成		(3) 内容の構成
4	学習の仕方への支援	4	学習の仕方への支援	4	表記・表現及び使用上の便宜等
5	指導上の便宜等	5	指導上の便宜等		
6	印刷・造本等	6	印刷・造本等	5	印刷・造本等

令和 6 年度使用教科用図書調査専門委員会研究報告書 観点・着眼点 (種目名 国語)

観 点		着 眼 点	A 者	B 者	C 者
1	「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実	ア 一人一人の特性や学習進度、学習到達度等に応じ、指導方法・教材や学習時間等の柔軟な提供・設定を行うことに適しているか。 「指導の個別化」 イ 一人一人に応じた学習活動や学習課題に取り組む機会を提供することに適しているか。「学習の個性化」 ウ 探究的な学習や体験活動などを通じ、多様な他者と協働しながら、必要な資質・能力を育成することに適しているか。「協働的な学び」			
2	学習指導要領との関連	【目標】言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 日常生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。 (2) 日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。 (3) 言葉がもつよさを認識するとともに、言語感覚を養い、国語の大切さを自覚し、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。 この目標を達成する上において、効果的に編集されているか。			
3	(1) 内容の選択	ア 基礎的・基本的な知識及び技能の定着を図る学習活動と、思考力・判断力・表現力等の育成を図る学習活動が配慮されているか。 イ 児童の学びに向かう力、人間性等を高めるように配慮されているか。			
	(2) 内容の程度	ア 目指す資質・能力において、児童の発達段階に適した内容となっているか。 イ 他教科等や実生活・実社会に関連付けられるような記述や題材について、学年相応の工夫がなされているか。 ウ 補充的な学習や発展的な学習等の内容は適切であるか。			
	(3) 内容の構成	ア 単元の構成について、学習目標・計画が立てやすく配慮されているか。 イ 言葉の特徴や使い方、情報の扱い方、我が国の言語文化に関する事項の系統・配列・分量はどうか。 ウ 「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の系統・配列・分量はどうか。 エ 言語活動の創意工夫や語彙指導、読書指導の充実を図ることに配慮されているか。			
4	学習の仕方への支援	ア 学びに向かう力を高めるような表記・表現がされているか。 イ 重要語句・新出漢字の提示、挿絵・漢字・図表等についての工夫はどうか。			
5	指導上の便宜	ア 学習のねらいの提示の仕方はどうか。 イ 本文記述と挿絵・イラスト・写真・図表などに適切な関連付けがされているか。 ウ タブレットPCを活用することで学習効果が上がるよう工夫されているか。			
6	印刷・造本等	ア 印刷の鮮明度、文字の大きさ、色彩等はどうか。 イ ユニバーサルデザイン化が図られているか。 ウ 造本の堅ろうさや体裁は適切であるか。			

観 点		着 眼 点	A 者	B 者	C 者
1	「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実	ア 一人一人の特性や学習進度、学習到達度等に応じ、指導方法・教材や学習時間等の柔軟な提供・設定を行うことに適しているか。「指導の個別化」 イ 一人一人に応じた学習活動や学習課題に取り組む機会を提供することに適しているか。「学習の個性化」 ウ 探究的な学習や体験活動などを通じ、多様な他者と協働しながら、必要な資質・能力を育成することに適しているか。「協働的な学び」			
2	学習指導要領との関連	【目標】言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 日常生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。 (2) 日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。 (3) 言葉がもつよさを認識するとともに、言語感覚を養い、国語の大切さを自覚し、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。 この目標を達成する上において、効果的に編集されているか。			
3	(1) 内容の選択	ア 基礎的・基本的な知識及び技能の定着を図る学習活動と、思考力・判断力・表現力等の育成を図る学習活動が配慮されているか。 イ 児童の学びに向かう力、人間性等を高めるように配慮されているか。			
	(2) 内容の程度	ア 目指す資質・能力において、児童の発達段階に適した内容となっているか。 イ 他教科等や実生活・実社会に関連付けられるような記述や題材について、学年相応の工夫がなされているか。 ウ 補充的な学習や発展的な学習等の内容は適切であるか。			
	(3) 内容の構成	ア 単元の構成について、学習目標・計画が立てやすく配慮されているか。 イ 言葉の特徴や使い方、情報の扱い方、我が国の言語文化に関する事項の系統・配列・分量はどうか。 ウ 「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の系統・配列・分量はどうか。 エ 言語活動の創意工夫や語彙指導、読書指導の充実を図ることに配慮されているか。			
4	学習の仕方への支援	ア 学びに向かう力を高めるような適切な表記・表現がされているか。 イ 重要語句・新出漢字の提示、挿絵・漢字・図表等についての工夫はどうか。			
5	指導上の便宜	ア 学習のねらいの提示の仕方はどうか。 イ 本文記述と挿絵・イラスト・写真・図表などに適切な関連付けがされているか。 ウ タブレットPCを活用することで学習効果が上がるよう工夫されているか。			
6	印刷・造本等	ア 印刷の鮮明度、文字の大きさ、色彩等はどうか。 イ ユニバーサルデザイン化が図られているか。 ウ 造本の堅ろうさや体裁は適切であるか。			

<記入の仕方> 優 (◎：特に優れている)、良 (○：良い) で評価し、◎は各観点につき 1 個、○は各観点につき 1 個以上記入 (小学校用)

各教科で特に調査を要する事項(案)

種目	事 項
国語	1 話したり聞いたり書いたりする活動が繰り返し行える内容になっているか
	2 文章の種類が調和的に配置され、説明的な文章については適宜、図表や写真等が含まれているか
	3 読書意欲を高め、日常生活における読書活動につながる内容になっているか
	4 言葉の特徴や使い方、情報の扱い方などに関する学習について系統的に扱われているか
書写	1 手紙や記録等の日常生活に役立てられる内容になっているか
	2 姿勢や用具の持ち方など学習準備段階が分かりやすく書かれているか
	3 硬筆と毛筆の関連が分かりやすく書かれているか
	4 文字の筆順が理解しやすく書かれているか
社会	1 地域の実態を生かすことができる内容になっているか
	2 観察や見学、聞き取りなど体験的な調査活動に取り組みやすい内容になっているか
	3 社会的事象について多角的に考えることができる内容になっているか
	4 グローバル化する国際社会に対応した内容になっているか
地図	1 47都道府県の名称と位置が確実に学べる内容になっているか
	2 我が国の位置と領土について確実に学べる内容になっているか
	3 世界の大陸と主な海洋の名称や位置が確実に学べる内容になっているか
	4 代表的な文化遺産が取り上げられているか
算数	1 日常の事象との関連が図られているか。
	2 具体物、図、言葉、数、式、表、グラフなどを用いて考えたり、 表現 したりする活動が充実しているか
	3 知識・技能 を確実に身に付ける内容が充実しているか
	4 ICTを効果的に 活用することが図られているか
理科	1 一連の観察、実験における言語活動が充実するように工夫されているか
	2 コンピュータや情報通信ネットワークの活用が図られているか
	3 具体的な体験を伴う学習活動が適切に取り入れられているか
	4 学習内容と、日常生活や自然災害との関連が図られているか
生活	1 地域の人々、社会及び自然を生かすとともに、それらを一体的に扱うように工夫されているか
	2 見付ける、比べる、たとえる、 試す、見通す、工夫する といった多様な学習活動となるように工夫されているか
	3 身近な幼児や高齢者、障害のある児童生徒などの多様な人々との触れ合いが工夫されているか
	4 生活上必要な習慣や技能の指導が行えるように工夫されているか
音楽	1 表現に対する思いや聴いて感じ取ったことを伝え合う活動が効果的に位置づけられているか
	2 他者と協働して音楽表現を生み出す活動が充実しているか
	3 音符や休符、記号や用語について、 音楽を形づくっている要素とその働きとの関連 が理解できる内容になっているか
	4 我が国や郷土の音楽の指導の扱いが充実しているか
図画工作	1 造形遊びの活動について、身の回りの形や色などと豊かに関わるができる内容になっているか
	2 絵や立体、工作に表す活動について、創造的につくったり表したりできる内容になっているか
	3 自分の見方や感じ方を深める鑑賞活動ができる内容になっているか
	4 材料、用具、活動場所などについて安全かつ活動しやすいものとなるような解説がされているか
家庭	1 2年間の学習の見通しをもちやすくなっているか
	2 実践的な活動を家庭や地域などで行うことができる内容になっているか
	3 自分の生活における課題を見つけ、解決に向けて取り組むことができる内容になっているか
	4 中学校の学習を見据え、系統的に学習ができる内容になっているか
保健	1 健康的な生活習慣の形成に結び付くように工夫されているか
	2 他教科や運動領域との関連が図られているか
	3 心の健康について課題を見付け、解決を目指す活動が行えるようになっているか
	4 今日的な健康問題について理解が深まるように工夫されているか
道徳	1 児童の発達段階を考慮した題材が扱われているか
	2 道徳的価値を感じることができる題材が扱われているか
	3 自らを振り返って成長を実感したり、これからの課題や目標を見付けたりできるよう工夫されているか
	4 「いじめ問題・生命の尊さ」が適切に扱われているか
英語	1 児童の発達段階、興味・関心に即した内容になっているか
	2 実際のコミュニケーションを行う目的、場面、状況などが明確に設定されているか
	3 ペア・ワーク、グループワークなど様々な学習形態が取り入れられているか
	4 中学年外国語活動からの接続及び中学校英語への接続が図られているか

令和6年度使用教科用図書調査専門委員会研究報告書 観点・着眼点（ 種目名 国語 ）

観 点		着 眼 点	2 東 書	17 教 出	38 光 村
1	「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実	ア 一人一人の特性や学習進度、学習到達度等に応じ、指導方法・教材や学習時間等の柔軟な提供・設定を行うことに適しているか。「指導の個別化」 イ 一人一人に応じた学習活動や学習課題に取り組む機会を提供することに適しているか。「学習の個性化」 ウ 探究的な学習や体験活動などを通じ、多様な他者と協働しながら、必要な資質・能力を育成することに適しているか。「協働的な学び」			
2	学習指導要領との関連	【目標】言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 日常生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。 (2) 日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。 (3) 言葉がもつよさを認識するとともに、言語感覚を養い、国語の大切さを自覚し、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。 この目標を達成する上において、効果的に編集されているか。			
3 内 容	(1) 内容の選択	ア 基礎的・基本的な知識及び技能の定着を図る学習活動と、思考力・判断力・表現力等の育成を図る学習活動が配慮されているか。 イ 児童の学びに向かう力、人間性等を高めるように配慮されているか。			
	(2) 内容の程度	ア 目指す資質・能力において、児童の発達段階に適した内容となっているか。 イ 他教科等や実生活・実社会に関連付けられるような記述や題材について、学年相応の工夫がなされているか。 ウ 補充的な学習や発展的な学習等の内容は適切であるか。			
	(3) 内容の構成	ア 単元の構成について、学習目標・計画が立てやすく配慮されているか。 イ 言葉の特徴や使い方、情報の扱い方、我が国の言語文化に関する事項の系統・配列・分量はどうか。 ウ 「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の系統・配列・分量はどうか。 エ 言語活動の創意工夫や語彙指導、読書指導の充実を図ることに配慮されているか。			
4	学習の仕方への支援	ア 学びに向かう力を高めるような表記・表現がされているか。 イ 重要語句・新出漢字の提示、挿絵・漢字・図表等についての工夫はどうか。			
5	指導上の便宜	ア 学習のねらいの提示の仕方はどうか。 イ 本文記述と挿絵・イラスト・写真・図表などに適切な関連付けがされているか。 ウ タブレットP Cを活用することで学習効果が上がるよう工夫されているか。			
6	印刷・造本等	ア 印刷の鮮明度、文字の大きさ、色彩等はどうか。 イ ユニバーサルデザイン化が図られているか。 ウ 造本の堅ろうさや体裁は適切であるか。			

令和6年度使用教科用図書調査専門委員会研究報告書 観点・着眼点（ 種目名 書写 ）

観 点		着 眼 点	2 東 書	17 教 出	38 光 村
1	「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実	ア 一人一人の特性や学習進度、学習到達度等に応じ、指導方法・教材や学習時間等の柔軟な提供・設定を行うことに適しているか。「指導の個別化」 イ 一人一人に応じた学習活動や学習課題に取り組む機会を提供することに適しているか。「学習の個性化」 ウ 探究的な学習や体験活動などを通じ、多様な他者と協働しながら、必要な資質・能力を育成することに適しているか。「協働的な学び」			
2	学習指導要領との関連	【目標】言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1)日常生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。 (2)日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。 (3)言葉がもつよさを認識するとともに、言語感覚を養い、国語の大切さを自覚し、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。 この目標を達成する上において、効果的に編集されているか。			
3	(1)内容の選択	ア ねらいと内容は妥当であるか。 イ 教材の内容に工夫がされているか。			
	(2)内容の程度	ア 内容の程度は、学年の発達段階や生活経験に合っているか。 イ 書体及び用筆などは、児童の学習に適しているか。 ウ 基礎的な技能や態度について配慮されているか。 エ 補充的な学習や発展的な学習等の内容は適切であるか。			
	(3)内容の構成	ア 内容の系統性・分量はどうか。 イ 硬筆と毛筆との関連のさせ方はどうか。 ウ ねらいに迫るための補助的な資料や練習するうえでの工夫はどうか。 エ 伝統的な言語文化に親しめるよう配慮されているか。			
4	学習の仕方への支援	ア 見出しや説明の文章などの表記・表現は理解しやすいか。 イ 本文記述との適切な関連付けがなされたイラスト・写真などが活用されているか。			
5	指導上の便宜	ア 個々の児童の理解の程度に応じて学習する内容について編集上の区分がされているか。 イ タブレットP Cを活用することで学習効果が上がるよう工夫されているか。			
6	印刷・造本等	ア 印刷の鮮明度、文字の大きさ、色彩等は適切であるか。 イ ユニバーサルデザイン化が図られているか。 ウ 造本の堅ろうさや体裁は適切であるか。			

令和6年度使用教科用図書調査専門委員会研究報告書 観点・着眼点（種目名 社会）

観 点		着 眼 点	2 束 書	17 教 出	116 日 文
1	「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実	ア 一人一人の特性や学習進度、学習到達度等に応じ、指導方法・教材や学習時間等の柔軟な提供・設定を行うことに適しているか。「指導の個別化」 イ 一人一人に応じた学習活動や学習課題に取り組む機会を提供することに適しているか。「学習の個性化」 ウ 探究的な学習や体験活動などを通じ、多様な他者と協働しながら、必要な資質・能力を育成することに適しているか。「協働的な学び」			
2	学習指導要領との関連	【目標】社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。 (1) 地域や我が国の国土の地理的環境、現代社会の仕組みや働き、地域や我が国の歴史や伝統と文化を通して社会生活について理解するとともに、様々な資料や調査活動を通して情報を適切に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 (2) 社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考えたり、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断したりする力、考えたことや選択・判断したことを適切に表現する力を養う。 (3) 社会的事象について、よりよい社会を考え主体的に問題解決しようとする態度を養うとともに、多角的な思考や理解を通して、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚、我が国の国土と歴史に対する愛情、我が国の将来を担う国民としての自覚、世界の国々の人々と共に生きていくことの大切さについての自覚などを養う。 この目標を達成する上において、効果的に編集されているか。			
3	(1) 内容の選択	ア 内容が精選されているとともに、必要な情報が的確に選択されているか。 イ 社会の変化に対応したものが、選ばれているか。			
	(2) 内容の程度	ア 内容の程度は、その学年の発達段階に適しているか。 イ 児童が興味・関心をもって学習を進められるよう、話題や題材の創意工夫がなされているか。 ウ 本文・注・挿絵・写真・地図・年表・問題などは、その学年の能力に照らして適切であるか。 エ 社会生活に関連付けられるような記述や話題・題材の工夫がなされているか。			
	(3) 内容の構成	ア 内容の発展的な系統が全体としてたてられ、配列や関連付けが適切であるか。 イ 単元展開の扱い方や各内容の分量の配分は適切であるか。 ウ 補充的な学習や発展的な学習の内容の配列や分量は適切であるか。			
4	学習の仕方への支援	ア 漢字・仮名遣い・記号・用語・人名・地名・国名などは適切であり、統一されているか。 イ 児童が学習しやすいように表記・表現が工夫されているか。			
5	指導上の便宜	ア 目次・注・凡例・諸表・資料など、教科書使用上の便宜が必要に応じて図られているか。 イ タブレットPCを活用することで学習効果が上がるよう工夫されているか。			
6	印刷・造本等	ア 印刷の鮮明度、文字の大きさ、色彩等は適切であるか。 イ ユニバーサルデザイン化が図られているか。 ウ 造本の堅ろうさや体裁は適切であるか。			

令和6年度使用教科用図書調査専門委員会研究報告書 観点・着眼点（ 種目名 地図 ）

観 点		着 眼 点	2 東 書	46 帝 国
1	「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実	ア 一人一人の特性や学習進度、学習到達度等に応じ、指導方法・教材や学習時間等の柔軟な提供・設定を行うことに適しているか。 「指導の個別化」 イ 一人一人に応じた学習活動や学習課題に取り組む機会を提供することに適しているか。「学習の個性化」 ウ 探究的な学習や体験活動などを通じ、多様な他者と協働しながら、必要な資質・能力を育成することに適しているか。「協働的な学び」		
2	学習指導要領との関連	【目標】社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。 (1) 地域や我が国の国土の地理的環境、現代社会の仕組みや働き、地域や我が国の歴史や伝統と文化を通して社会生活について理解するとともに、様々な資料や調査活動を通して情報を適切に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 (2) 社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考えたり、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断したりする力、考えたことや選択・判断したことを適切に表現する力を養う。 (3) 社会的事象について、よりよい社会を考え主体的に問題解決しようとする態度を養うとともに、多角的な思考や理解を通して、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚、我が国の国土と歴史に対する愛情、我が国の将来を担う国民としての自覚、世界の国々の人々と共に生きていくことの大切さについての自覚などを養う。 この目標を達成する上において、効果的に編集されているか。		
3 内 容	(1) 内容の選択	ア 内容が精選されているとともに、必要な情報が的確に選択されているか。		
	(2) 内容の程度	ア 内容の程度は児童の発達段階に適応しているか。 イ 児童の生活経験及び興味に対する配慮がなされているか。 ウ 基礎的・基本的な知識・技能が着実に習得されるよう記述の工夫がされているか。		
	(3) 内容の構成	ア 構成・配列・分量は学習指導上よく配慮されているか。		
4	学習の仕方への支援	ア 漢字・仮名遣い・送り仮名・記号・用語・地名・国名・計算単位などの表記は適切であるか。 イ 適切なイラストや写真が活用されているか。		
5	指導上の便宜	ア 目次・索引・注・凡例・諸表・その他、教科書使用上の便宜を与えるものが必要に応じて用意されているか。 イ タブレットP Cを活用することで学習効果が上がるよう工夫されているか。		
6	印刷・造本等	ア 印刷の鮮明度、文字の大きさ、色彩等は適切であるか。 イ ユニバーサルデザイン化が図られているか。 ウ 造本の堅ろうさや体裁は適切であるか。		

令和6年度使用教科用図書調査専門委員会研究報告書 観点・着眼点（種目名 算数）

観 点		着 眼 点	2 東 書	4 大 日 本	11 学 図	17 教 出	61 啓 林 館	116 日 文
1	「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実	ア 一人一人の特性や学習進度、学習到達度等に応じ、指導方法・教材や学習時間等の柔軟な提供・設定を行うことに適しているか。「指導の個別化」 イ 一人一人に応じた学習活動や学習課題に取り組む機会を提供することに適しているか。「学習の個性化」 ウ 探究的な学習や体験活動などを通じ、多様な他者と協働しながら、必要な資質・能力を育成することに適しているか。「協働的な学び」						
2	学習指導要領との関連	【目標】数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1)数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などを理解するとともに、日常の事象を数理的に処理する技能を身に付けるようにする。 (2)日常の事象を数理的に捉え見通しをもち筋道を立てて考察する力、基礎的・基本的な数量や図形の性質などを見いだし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表したり目的に応じて柔軟に表したりする力を養う。 (3)数学的活動の楽しさや数学のよさに気づき、学習を振り返ってよりよく問題解決しようとする態度、算数で学んだことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。 この目標を達成する上において、効果的に編集されているか。						
3 内 容	(1)内容の選択	ア 各領域の目標達成のために、適切な内容が選ばれているか。 イ 各教材の意図を明確にし、学習の焦点化をするための配慮がされているか。 ウ 基礎的な内容の指導にあたって、適切な配慮がされているか。 エ 主体的な学習が進められるような教材の構成が、適切であるか。						
	(2)内容の程度	ア 学年の発達段階に応じた内容になっているか。 イ 児童が興味・関心をもって学習を進められるように教材が工夫されているか。 ウ 児童の理解の程度に応じて発展的な学習やつまづきやすい内容の繰り返し学習、補充的な学習についての配慮や工夫がされているか。 エ 数学的な活動が適切に位置付けられているか。						
	(3)内容の構成	ア 各領域の内容が系統的・発展的に組織されているか。 イ 各内容の配列や関連付けが適切であるか。 ウ 各内容及び各学年の分量の配分が適切であるか。						
4	学習の仕方への支援	ア 本文記述との適切な関連付けがなされたイラスト・写真などが活用されているか。 イ 文章は理解しやすく、簡潔で要領よく書かれているか。						
5	指導上の便宜	ア 単元の項目・展開・資料などが利用しやすくなっているか。 イ タブレットP Cを活用することで学習効果が上がるよう工夫されているか。						
6	印刷・造本等	ア 印刷の鮮明度、文字の大きさ、色彩等は適切であるか。 イ ユニバーサルデザイン化が図られているか。 ウ 造本の堅ろうさや体裁は適切であるか。						

令和6年度使用教科用図書調査専門委員会研究報告書 観点・着眼点（ 種目名 理科 ）

観 点		着 眼 点	2 東 書	4 大 日 本	11 学 図	17 教 出	26 信 教	61 啓 林 館
1	「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実	ア 一人一人の特性や学習進度、学習到達度等に応じ、指導方法・教材や学習時間等の柔軟な提供・設定を行うことに適しているか。「指導の個別化」 イ 一人一人に応じた学習活動や学習課題に取り組む機会を提供することに適しているか。「学習の個性化」 ウ 探究的な学習や体験活動などを通じ、多様な他者と協働しながら、必要な資質・能力を育成することに適しているか。「協働的な学び」						
2	学習指導要領との関連	【目標】自然に親しみ、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象についての問題を科学的に解決するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 自然の事物・現象についての理解を図り、観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 (2) 観察、実験などを行い、問題解決の力を養う。 (3) 自然を愛する心情や主体的に問題解決しようとする態度を養う。 この目標を達成する上において、効果的に編集されているか。						
3	(1) 内容の選択	ア 「物質・エネルギー」の領域の内容は、その学年に適切なものが選ばれているか。 イ 「生命・地球」の領域の内容は、その学年に適切なものが選ばれているか。						
	(2) 内容の程度	ア 「物質・エネルギー」の領域の内容は、その学年の児童に適合しているか。 イ 「生命・地球」の領域の内容は、その学年の児童に適合しているか。 ウ 補充的な学習や発展的な学習の内容は、その学年の児童に適合しているか。						
	(3) 内容の構成	ア 内容は組織的であるか。 イ 内容の系統性とともに、育成を目指す資質・能力のつながりを意識した構成・配列となっているか。 ウ 補充的な学習や発展的な学習の内容は扱いやすく配列されているか。また、分量は適切であるか。 エ 日常生活や社会、他教科等との関連への配慮がされているか。						
4	学習の仕方への支援	ア 本文記述との適切な関連付けがなされたイラスト・写真などが活用されているか。						
5	指導上の便宜	ア 実験等における安全面について適切な配慮がなされているか。 イ 読み物資料などは、必要に応じて利用しやすいように取り入れられているか。 ウ タブレットPCを活用することで学習効果が上がるよう工夫されているか。						
6	印刷・造本等	ア 印刷の鮮明度、文字の大きさ、色彩等は適切であるか。 イ ユニバーサルデザイン化が図られているか。 ウ 造本の堅ろうさや体裁は適切であるか。						

令和6年度使用教科用図書調査専門委員会研究報告書 観点・着眼点（種目名 生活）

観 点		着 眼 点	2 東 書	4 大 日 本	11 学 図	17 教 出	26 信 教	38 光 村	61 啓 林 館
1	「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実	ア 一人一人の特性や学習進度、学習到達度等に応じ、指導方法・教材や学習時間等の柔軟な提供・設定を行うことに適しているか。「指導の個別化」 イ 一人一人に応じた学習活動や学習課題に取り組む機会を提供することに適しているか。「学習の個性化」 ウ 探究的な学習や体験活動などを通じ、多様な他者と協働しながら、必要な資質・能力を育成することに適しているか。「協働的な学び」							
2	学習指導要領との関連	【目標】具体的な活動や体験を通して、身近な生活に関わる見方・考え方を生かし、自立し生活を豊かにしていくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1)活動や体験の過程において、自分自身、身近な人々、社会及び自然の特徴やよさ、それらの関わり等に気付くとともに、生活上必要な習慣や技能を身に付けるようにする。 (2)身近な人々、社会及び自然を自分との関わりで捉え、自分自身のや自分の生活について考え、表現することができるようにする。 (3)身近な人々、社会及び自然に自ら働きかけ、意欲や自信をもって学んだり生活を豊かにしたりしようとする態度を養う。 この目標を達成する上において、効果的に編集されているか。							
内容	(1)内容の選択	ア 教科の目標に照らして、内容の選択は適切であるか。 イ 地域の実態に応じて、多様な活動ができるような配慮がされているか。							
	(2)内容の程度	ア 内容の程度は、児童の発達段階に配慮されているか。 イ 児童の主體的な活動を促すような話題や題材の創意工夫がされているか。							
	(3)内容の構成	ア 各内容の構成や配列に、不統一や不要な重複がないように配慮されているか。 イ 各内容及び各学年の分量の配分が適切であるか。 ウ 補充的な学習や発展的な学習の内容は扱いやすく配列されているか。また、分量は適切であるか。 エ 幼児期の教育や各教科等との接続・関連に配慮されているか。							
4	学習の仕方への支援	ア 漢字、仮名遣い、記号、用語などは、児童に理解しやすいものになっているか。							
5	指導上の便宜	ア 具体的な活動を引き出すように、イラスト、写真、資料などが利用しやすく取り入れられているか。 イ タブレットPCを活用することで学習効果が上がるよう工夫されているか。							
6	印刷・造本等	ア 印刷の鮮明度、文字の大きさ、色彩等は適切であるか。 イ ユニバーサルデザイン化が図られているか。 ウ 造本の堅ろうさや体裁は適切であるか。							

令和6年度使用教科用図書調査専門委員会研究報告書 観点・着眼点（種目名 音楽）

観 点		着 眼 点	17 教 出	27 教 芸
1	「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実	ア 一人一人の特性や学習進度、学習到達度等に応じ、指導方法・教材や学習時間等の柔軟な提供・設定を行うことに適しているか。 「指導の個別化」 イ 一人一人に応じた学習活動や学習課題に取り組む機会を提供することに適しているか。「学習の個性化」 ウ 探究的な学習や体験活動などを通じ、多様な他者と協働しながら、必要な資質・能力を育成することに適しているか。「協働的な学び」		
2	学習指導要領との関連	【目標】表現及び鑑賞の活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1)曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、表したい音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。 (2)音楽表現を工夫することや、音楽を味わって聴くことができるようにする。 (3)音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育むとともに、音楽に親しむ態度を養い、豊かな情操を培う。 この目標を達成する上において、効果的に編集されているか。		
3 内 容	(1)内容の選択	ア 教科の目標並びに学年の目標を達成するのに適切であるか。 イ 我が国や郷土の伝統や文化、児童の生活経験を踏まえて、興味・関心を高めるような配慮がなされているか。 ウ 音楽活動の基礎的な能力を身に付ける学習と、弾力的な運用・補充的な学習や発展的な学習についての配慮がなされているか。		
	(2)内容の程度	ア 学年の発達段階や興味に照らして適切であるか。 イ 音楽活動の基礎的な能力を身に付けるのに適切な選曲・編曲であるか。 ウ 補充的な学習や発展的な学習の内容は適切であるか。		
	(3)内容の構成	ア 内容が発展的・系統的に組織立てられているか。 イ 教材の配列や補充的な学習、発展的な学習の分量及び領域間の関連は適切であるか。		
4	学習の仕方への支援	ア 楽譜や本文との適切な関連付けがなされたイラストや写真などが使われているか。		
5	指導上の便宜	ア 内容が分かりやすく利用しやすいように配慮されているか。 イ タブレットP Cを活用することで学習効果が上がるよう工夫されているか。		
6	印刷・造本等	ア 印刷の鮮明度、文字の大きさ、色彩等は適切であるか。 イ ユニバーサルデザイン化が図られているか。 ウ 造本の堅ろうさや体裁は適切であるか。		

令和6年度使用教科用図書専門委員会調査研究報告書 観点・着眼点（種目名 図工）

観 点		着 眼 点	9 開 隆 堂	116 日 文
1	「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実	ア 一人一人の特性や学習進度、学習到達度等に応じ、指導方法・教材や学習時間等の柔軟な提供・設定を行うことに適しているか。「指導の個別化」 イ 一人一人に応じた学習活動や学習課題に取り組む機会を提供することに適しているか。「学習の個性化」 ウ 探究的な学習や体験活動などを通じ、多様な他者と協働しながら、必要な資質・能力を育成することに適しているか。「協働的な学び」		
2	学習指導要領との関連	【目標】表現及び鑑賞の活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の形や色などと豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1)対象や事象を捉える造形的な視点について自分の感覚や行為を通して理解するとともに、材料や用具を使い、表し方などを工夫して、創造的につくったり表したりすることができるようにする。 (2)造形的なよさや美しさ、表したいこと、表し方などについて考え、創造的に発想や構想をしたり、作品などに対する自分の見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。 (3)つくりだす喜びを味わうとともに、感性を育み、楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養い、豊かな情操を培う。 この目標を達成する上において、効果的に編集されているか。		
3 内 容	(1)内容の選択	ア 図画工作科の目標に合わせて、造形遊び、絵・立体の内容が適切に選ばれているか。 イ 表現及び鑑賞に関する資質・能力を相互に関連させた学習が充実するよう配慮されているか。 ウ 日本や地域の伝統や文化、現代社会の変化を踏まえた題材や教材が扱われているか。 エ 他教科等との関連を考慮して、適切に選ばれているか。		
	(2)内容の程度	ア 形や色、イメージなどに関する児童の発達の特性に配慮されているか。 イ 児童の生活経験や興味関心、生活とのつながりについて考慮されているか。 ウ 一般的な施設や設備の学校で扱えるように配慮されているか。 エ 児童の発想に対応できる多様な表現や材料や道具の扱いについて配慮されているか。		
	(3)内容の構成	ア 内容が発展的、系統的に配列されているか。 イ 各内容の分量や配列、関連付けが適切であるか。 ウ 主体的に表現したり、鑑賞したりする活動を引き出すような作品や材料・技法等が適切に配列されているか。 エ 創造的な発想や構想をしたり、造形的な見方や考え方を深めたりできるよう作品や材料などが適切に示されているか。		
4	学習の仕方への支援	ア 文章は簡明、具体的で理解しやすいか。 イ 作品や図版、写真などは本文との適切な関連付けがされており鮮明であるか。		
5	指導上の便宜	ア 目次や索引、注、凡例、諸表、資料などは利用しやすいか。 イ 作品や図版、写真などに適切な説明がされているか。 ウ タブレットP Cを活用することで学習効果が上がるよう工夫されているか。		
6	印刷・造本等	ア 印刷の鮮明度、文字の大きさ、色彩等は適切であるかどうか。 イ ユニバーサルデザイン化が図られているか。 ウ 造本の堅ろうさや体裁は適切であるか。		

観 点		着 眼 点	2 東 書	9 開 隆 堂
1	「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実	ア 一人一人の特性や学習進度、学習到達度等に応じ、指導方法・教材や学習時間等の柔軟な提供・設定を行うことに適しているか。「指導の個別化」 イ 一人一人に応じた学習活動や学習課題に取り組む機会を提供することに適しているか。「学習の個性化」 ウ 探究的な学習や体験活動などを通じ、多様な他者と協働しながら、必要な資質・能力を育成することに適しているか。「協働的な学び」		
2	学習指導要領との関連	【目標】生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、生活をよりよくしようと工夫する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 家族や家庭、衣食住、消費や環境などについて、日常生活に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。 (2) 日常生活の中から問題を見いだして課題を設定し、様々な解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなど、課題を解決する力を養う。 (3) 家庭生活を大切にすることの心情を育み、家族や地域の人々との関わりを考え、家族の一員として、生活をよりよくしようと工夫する実践的な態度を養う。 この目標を達成する上において、効果的に編集されているか。		
3 内 容	(1) 内容の選択	ア 学習の目標を達成するうえで、適切な内容が選ばれているか。 イ 学習した知識及び技能を生活に活用したり、社会や家庭生活の変化に対応したりする内容が、必要に応じて選ばれているか。 ウ 他教科等との関連及び各内容の関連を考慮し、適切に内容が選ばれているか。		
	(2) 内容の程度	ア 本文・挿絵・写真・図表・問題・補充的な学習や発展的な学習の内容等は、児童の生活経験、興味・関心に適応するように配慮されているか。 イ 児童の生活経験や実態に配慮されているか。		
	(3) 内容の構成	ア 内容が発展的・系統的に組織されているか。 イ 各内容の配列や分量は適切であるか。 ウ 実習や調査、実験等は適切に配列されているか。 エ 季節や行事、地域等との関連が考慮されているか。		
4	学習の仕方への支援	ア 本文記述との適切な関連付けがなされた図表等が用いられ、表記・表現は適切であるか。 イ 文章は、児童に理解しやすく簡潔に書かれているか。		
5	指導上の便宜	ア さし絵・写真・図表等は、見やすく使いやすい工夫がされているか。 イ 統計等には、必要に応じて出所・出典が示されているか。 ウ タブレットP Cを活用することで学習効果が上がるよう工夫されているか。		
6	印刷・造本等	ア 印刷の鮮明度、文字の大きさ、色彩等は適切であるかどうか。 イ ユニバーサルデザイン化が図られているか。 ウ 造本の堅ろうさや体裁は適切であるか。		

観 点		着 眼 点	2 東 書	4 大 日 本	50 大 修 館	207 文 教 社	208 光 文	224 学 研
1	「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実	ア 一人一人の特性や学習進度、学習到達度等に応じ、指導方法・教材や学習時間等の柔軟な提供・設定を行うことに適しているか。「指導の個別化」 イ 一人一人に応じた学習活動や学習課題に取り組む機会を提供することに適しているか。「学習の個性化」 ウ 探究的な学習や体験活動などを通じ、多様な他者と協働しながら、必要な資質・能力を育成することに適しているか。「協働的な学び」						
2	学習指導要領との関連	【目標】体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を見付け、その解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) その特性に応じた各種の運動の行い方及び身近な生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な動きや技能を身に付けるようにする。 (2) 運動や健康について自己の課題を見付け、その解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。 (3) 運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、楽しく明るい生活を営む態度を養う。 この目標を達成する上において、効果的に編集されているか。						
3 内 容	(1) 内容の選択	ア 目標達成のために、適切な内容が選ばれているか。 イ 児童の生活や経験に適應する身近な内容が選ばれているか。 ウ 学習を進める上で適切な内容の資料が選ばれているか。						
	(2) 内容の程度	ア 児童の発達段階に配慮されているか。 イ 興味・関心をもって読み進められるように話題や題材の創意工夫がなされているか。 ウ 補充的な学習や発展的な学習の内容は適切に提示されているか。						
	(3) 内容の構成	ア 主体的に学習が進められるように構成されているか。 イ 補充的な学習や発展的な学習の内容を含め、各内容が系統的・発展的に構成されているか。 ウ 各内容、補充的な学習や発展的な学習の内容の分量は適切であるか。						
4	学習の仕方への支援	ア 文章は、児童に理解しやすく簡潔に書かれているか。 イ 写真・統計などは、児童の学習を支援するように工夫されているか。						
5	指導上の便宜	ア さし絵・写真・図表等は、見やすく使いやすい工夫がされているか。 イ 統計等には、必要に応じて出所・出典が示されているか。 ウ タブレットP Cを活用することで学習効果が上がるよう工夫されているか。						
6	印刷・造本等	ア 印刷の鮮明度、文字の大きさ、色彩等は適切であるかどうか。 イ ユニバーサルデザイン化が図られているか。 ウ 造本の堅ろうさや体裁は適切であるか。						

令和6年度使用教科用図書調査専門委員会研究報告書 観点・着眼点（ 種目名 道徳 ）

観 点		着 眼 点	2 東 書	17 教 出	38 光 村	116 日 文	208 光 文	224 学 研
1	「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実	ア 一人一人の特性や学習進度、学習到達度等に応じ、指導方法・教材や学習時間等の柔軟な提供・設定を行うことに適しているか。「指導の個別化」 イ 一人一人に応じた学習活動や学習課題に取り組む機会を提供することに適しているか。「学習の個性化」 ウ 探究的な学習や体験活動などを通じ、多様な他者と協働しながら、必要な資質・能力を育成することに適しているか。「協働的な学び」						
2	学習指導要領との関連	【目標】よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。 この目標を達成する上において、効果的に編集されているか。						
3	(1)内容の選択	ア 児童の発達の段階を考慮し、内容項目が四つの視点から関連的、発展的に配列され、分量や内容が適切に選択されているか。 イ 生命の尊厳、自然、伝統と文化、先人の伝記、スポーツ、情報化への対応等の現代的な課題や、郷土の歴史や文化などを教材とした内容が適切に選択されているか。						
	(2)内容の程度	ア 児童の発達の段階に即し、ねらいを達成するのにふさわしい内容や表現になっているか。 イ 人間尊重の精神にかなうものであり、悩みや葛藤等の心の揺れ、人間関係の理解等も含め、児童が深く考えることができ、人間としてよりよく生きる喜びや勇気を与えられる内容となっているか。 ウ 多面的・多角的な見方や考え方ができるような教材を取り扱い、見方や考え方に偏りのない内容となるよう配慮されているか。						
	(3)内容の構成	ア ねらいとする内容項目に関連するコラムや名言及び格言の系統・配列・分量は適切か。 イ 言語活動及び問題解決的な学習や体験的な学習等の多様な学習に対応できるような内容構成となっているか。 ウ 振り返りの学習や評価に関わる内容が適切に設定されているか。						
4	学習の仕方への支援	ア 児童の興味・関心・意欲を高めるような、適切な表記・表現がされているか。 イ 本文記述と挿絵・イラスト・写真・図表などが適切に関連付けられているか。						
5	指導上の便宜	ア 漢字・仮名遣い・記号・用語・人名・地名・国名などは適切であり、統一されているか。 イ 目次・注・写真・教材と内容項目との関連図・資料などが必要に応じて用意されているか。						
6	印刷・造本等	ア 印刷の鮮明度、文字の大きさ、色彩等はどうか。 イ ユニバーサルデザイン化が図られているか。 ウ 造本の堅ろうさや体裁は適切であるか。						

令和6年度使用教科用図書調査専門委員会研究報告書 観点・着眼点（ 種目名 外国語《英語》 ）

観 点		着 眼 点	2 東 書	9 開 隆 堂	15 三 省 堂	17 教 出	38 光 村	61 啓 林 館
1	「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実	ア 一人一人の特性や学習進度、学習到達度等に応じ、指導方法・教材や学習時間等の柔軟な提供・設定を行うことに適しているか。「指導の個別化」 イ 一人一人に応じた学習活動や学習課題に取り組む機会を提供することに適しているか。「学習の個性化」 ウ 探究的な学習や体験活動などを通じ、多様な他者と協働しながら、必要な資質・能力を育成することに適しているか。「協働的な学び」						
2	学習指導要領との関連	【目標】外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、話すことの言語活動を通して、コミュニケーションを図る素地となる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1)外国語を通して、言語や文化について体験的に理解を深め、日本語と外国語との音声の違い等に気付くとともに、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しむようにする。 (2)身近で簡単な事柄について、外国語で聞いたり話したりして自分の考えや気持ちなどを伝え合う力の素地を養う。 (3)外国語を通して、言語やその背景にある文化に対する理解を深め、相手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。 この目標を達成する上において、効果的に編集されているか。						
3 内 容	(1)内容の選択	ア 実際の言語の使用場面や言語の働きに配慮した言語材料及び題材の選択は適切か。 イ 外国の人々及び日本人の日常生活・風俗習慣・文化・ものの見方・考え方などに関するものを含めて、国際理解に役立つ題材が適切に取り上げられているか。 ウ 英語の学習に対する興味・関心や意欲を高めるような内容の工夫がされているか。						
	(2)内容の程度	ア 外国語活動の内容を繰り返し活用しつつ、広がりのある話題を設定するなど、外国語活動との関連が図られているか。 イ 外国や日本の生活の文化及び習慣について理解を深めるとともに、言語や文化への関心を高めるよう工夫されているか。 ウ 文及び文構造については、言語活動の中で基本的な表現として繰り返し触れるような工夫がされているか。						
	(3)内容の構成	ア 教材が系統的に組み立てられ、その配列や関連付けが適切であるか。 イ 音声に十分に慣れ親しんだ後に、「読むこと」「書くこと」の言語活動に取り組めるよう工夫されているか。 ウ 丁寧な文字指導や読み書きの指導ができるよう構成されているか。						
4	学習の仕方への支援	ア 児童の興味・関心・意欲を高めるような、適切な表記・表現がされているか。 イ 本文記述と挿絵・イラスト・写真・図表などに適切な関連付けがされているか。						
5	指導上の便宜	ア 音声・符号などの学習に配慮がされているか。 イ 目次・索引・注・凡例・諸表・資料などが、必要に応じて用意されているか。 ウ タブレットP Cを活用することで学習効果が上がるよう工夫されているか。						
6	印刷・造本等	ア 印刷の鮮明度、文字の大きさ、色彩等はどうか。 イ ユニバーサルデザイン化が図られているか。 ウ 造本の堅ろうさや体裁は適切であるか。						

観 点		着 眼 点	2 東 書	17 教 出	38 光 村
1	「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実	ア 一人一人の特性や学習進度、学習到達度等に応じ、指導方法・教材や学習時間等の柔軟な提供・設定を行うことに適しているか。「指導の個別化」 イ 一人一人に応じた学習活動や学習課題に取り組む機会を提供することに適しているか。「学習の個性化」 ウ 探究的な学習や体験活動などを通じ、多様な他者と協働しながら、必要な資質・能力を育成することに適しているか。「協働的な学び」			
2	学習指導要領との関連	【目標】言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1)日常生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。 (2)日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。 (3)言葉がもつよさを認識するとともに、言語感覚を養い、国語の大切さを自覚し、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。 この目標を達成する上において、効果的に編集されているか。			
3 内 容	(1)内容の選択	ア 基礎的・基本的な知識及び技能の定着を図る学習活動と、思考力・判断力・表現力等の育成を図る学習活動が配慮されているか。 イ 児童の学びに向かう力、人間性等を高めるように配慮されているか。			
	(2)内容の程度	ア 目指す資質・能力において、児童の発達段階に適した内容となっているか。 イ 他教科等や実生活・実社会に関連付けられるような記述や題材について、学年相応の工夫がなされているか。 ウ 補充的な学習や発展的な学習等の内容は適切であるか。			
	(3)内容の構成	ア 単元の構成について、学習目標・計画が立てやすく配慮されているか。 イ 言葉の特徴や使い方、情報の扱い方、我が国の言語文化に関する事項の系統・配列・分量はどうか。 ウ 「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の系統・配列・分量はどうか。 エ 言語活動の創意工夫や語彙指導、読書指導の充実を図ることに配慮されているか。			
4	学習の仕方への支援	ア 学びに向かう力を高めるような表記・表現がされているか。 イ 重要語句・新出漢字の提示、挿絵・漢字・図表等についての工夫はどうか。			
5	指導上の便宜	ア 学習のねらいの提示の仕方はどうか。 イ 本文記述と挿絵・イラスト・写真・図表などに適切な関連付けがされているか。 ウ タブレットP Cを活用することで学習効果が上がるよう工夫されているか。			
6	印刷・造本等	ア 印刷の鮮明度、文字の大きさ、色彩等はどうか。 イ ユニバーサルデザイン化が図られているか。			

＜記入の仕方＞ 優（◎：特に優れている）、良（○：良い）で評価し、◎は各観点につき1個、○は各観点につき1個以上記入（小学校用）

令和6年度使用教科用図書調査研究報告書（種目名 書写） 学校名 小学校 （様式2）

観 点		着 眼 点	2 東 書	17 教 出	38 光 村
1	「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実	ア 一人一人の特性や学習進度、学習到達度等に応じ、指導方法・教材や学習時間等の柔軟な提供・設定を行うことに適しているか。「指導の個別化」 イ 一人一人に応じた学習活動や学習課題に取り組む機会を提供することに適しているか。「学習の個性化」 ウ 探究的な学習や体験活動などを通じ、多様な他者と協働しながら、必要な資質・能力を育成することに適しているか。「協働的な学び」			
2	学習指導要領との関連	【目標】言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1)日常生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。 (2)日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。 (3)言葉がもつよさを認識するとともに、言語感覚を養い、国語の大切さを自覚し、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。 この目標を達成する上において、効果的に編集されているか。			
3 内 容	(1)内容の選択	ア ねらいと内容は妥当であるか。 イ 教材の内容に工夫がされているか。			
	(2)内容の程度	ア 内容の程度は、学年の発達段階や生活経験に合っているか。 イ 書体及び用筆などは、児童の学習に適しているか。 ウ 基礎的な技能や態度について配慮されているか。 エ 補充的な学習や発展的な学習等の内容は適切であるか。			
	(3)内容の構成	ア 内容の系統性・分量はどうか。 イ 硬筆と毛筆との関連のさせ方はどうか。 ウ ねらいに迫るための補助的な資料や練習するうえでの工夫はどうか。 エ 伝統的な言語文化に親しめるよう配慮されているか。			
4	学習の仕方への支援	ア 見出しや説明の文章などの表記・表現は理解しやすいか。 イ 本文記述との適切な関連付けがなされたイラスト・写真などが活用されているか。			
5	指導上の便宜	ア 個々の児童の理解の程度に応じて学習する内容について編集上の区分がされているか。 イ タブレットP Cを活用することで学習効果が上がるよう工夫されているか。			
6	印刷・造本等	ア 印刷の鮮明度、文字の大きさ、色彩等は適切であるか。 イ ユニバーサルデザイン化が図られているか。 ウ 造本の堅ろうさや体裁は適切であるか。			

＜記入の仕方＞ 優（◎：特に優れている）、良（○：良い）で評価し、◎は各観点につき1個、○は各観点につき1個以上記入 （小学校用）

観 点		着 眼 点	2 東書	17 教出	116 日文
1	「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実	ア 一人一人の特性や学習進度、学習到達度等に応じ、指導方法・教材や学習時間等の柔軟な提供・設定を行うことに適しているか。「指導の個別化」 イ 一人一人に応じた学習活動や学習課題に取り組む機会を提供することに適しているか。「学習の個性化」 ウ 探究的な学習や体験活動などを通じ、多様な他者と協働しながら、必要な資質・能力を育成することに適しているか。「協働的な学び」			
2	学習指導要領との関連	【目標】社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。 (1) 地域や我が国の国土の地理的環境、現代社会の仕組みや働き、地域や我が国の歴史や伝統と文化を通して社会生活について理解するとともに、様々な資料や調査活動を通して情報を適切に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 (2) 社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考えたり、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断したりする力、考えたことや選択・判断したことを適切に表現する力を養う。 (3) 社会的事象について、よりよい社会を考え主体的に問題解決しようとする態度を養うとともに、多角的な思考や理解を通して、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚、我が国の国土と歴史に対する愛情、我が国の将来を担う国民としての自覚、世界の国々の人々と共に生きていくことの大切さについての自覚などを養う。 この目標を達成する上において、効果的に編集されているか。			
3	(1) 内容の選択	ア 内容が精選されているとともに、必要な情報が的確に選択されているか。 イ 社会の変化に対応したものが、選ばれているか。			
	(2) 内容の程度	ア 内容の程度は、その学年の発達段階に適しているか。 イ 児童が興味・関心をもって学習を進められるよう、話題や題材の創意工夫がなされているか。 ウ 本文・注・挿絵・写真・地図・年表・問題などは、その学年の能力に照らして適切であるか。 エ 社会生活に関連付けられるような記述や話題・題材の工夫がなされているか。			
	(3) 内容の構成	ア 内容の発展的な系統が全体としてたてられ、配列や関連付けが適切であるか。 イ 単元展開の扱い方や各内容の分量の配分は適切であるか。 ウ 補充的な学習や発展的な学習の内容の配列や分量は適切であるか。			
4	学習の仕方への支援	ア 漢字・仮名遣い・記号・用語・人名・地名・国名などは適切であり、統一されているか。 イ 児童が学習しやすいように表記・表現が工夫されているか。			
5	指導上の便宜	ア 目次・注・凡例・諸表・資料など、教科書使用上の便宜が必要に応じて図られているか。 イ タブレットP Cを活用することで学習効果が上がるよう工夫されているか。			
6	印刷・造本等	ア 印刷の鮮明度、文字の大きさ、色彩等は適切であるか。 イ ユニバーサルデザイン化が図られているか。 ウ 造本の堅ろうさや体裁は適切であるか。			

＜記入の仕方＞ 優（◎：特に優れている）、良（○：良い）で評価し、◎は各観点につき1個、○は各観点につき1個以上記入（小学校用）

観 点		着 眼 点	2 東 書	46 帝 国
1	「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実	ア 一人一人の特性や学習進度、学習到達度等に応じ、指導方法・教材や学習時間等の柔軟な提供・設定を行うことに適しているか。「指導の個別化」 イ 一人一人に応じた学習活動や学習課題に取り組む機会を提供することに適しているか。「学習の個性化」 ウ 探究的な学習や体験活動などを通じ、多様な他者と協働しながら、必要な資質・能力を育成することに適しているか。「協働的な学び」		
2	学習指導要領との関連	【目標】社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。 (1) 地域や我が国の国土の地理的環境、現代社会の仕組みや働き、地域や我が国の歴史や伝統と文化を通して社会生活について理解するとともに、様々な資料や調査活動を通して情報を適切に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 (2) 社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考えたり、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断したりする力、考えたことや選択・判断したことを適切に表現する力を養う。 (3) 社会的事象について、よりよい社会を考え主体的に問題解決しようとする態度を養うとともに、多角的な思考や理解を通して、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚、我が国の国土と歴史に対する愛情、我が国の将来を担う国民としての自覚、世界の国々の人々と共に生きていくことの大切さについての自覚などを養う。 この目標を達成する上において、効果的に編集されているか。		
3 内 容	(1) 内容の選択	ア 内容が精選されているとともに、必要な情報が的確に選択されているか。		
	(2) 内容の程度	ア 内容の程度は児童の発達段階に適応しているか。 イ 児童の生活経験及び興味に対する配慮がなされているか。 ウ 基礎的・基本的な知識・技能が着実に習得されるよう記述の工夫がされているか。		
	(3) 内容の構成	ア 構成・配列・分量は学習指導上よく配慮されているか。		
4	学習の仕方への支援	ア 漢字・仮名遣い・送り仮名・記号・用語・地名・国名・計算単位などの表記は適切であるか。 イ 適切なイラストや写真が活用されているか。		
5	指導上の便宜	ア 目次・索引・注・凡例・諸表・その他、教科書使用上の便宜を与えるものが必要に応じて用意されているか。 イ タブレットP Cを活用することで学習効果が上がるよう工夫されているか。		
6	印刷・造本等	ア 印刷の鮮明度、文字の大きさ、色彩等は適切であるか。 イ ユニバーサルデザイン化が図られているか。 ウ 造本の堅ろうさや体裁は適切であるか。		

＜記入の仕方＞ 優（◎：特に優れている）、良（○：良い）で評価し、◎は各観点につき1個、○は各観点につき1個以上記入（小学校用）

観 点		着 眼 点	2 東 書	4 大 日 本	11 学 図	17 教 出	61 啓 林 館	116 日 文
1	「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実	ア 一人一人の特性や学習進度、学習到達度等に応じ、指導方法・教材や学習時間等の柔軟な提供・設定を行うことに適しているか。「指導の個別化」 イ 一人一人に応じた学習活動や学習課題に取り組む機会を提供することに適しているか。「学習の個性化」 ウ 探究的な学習や体験活動などを通じ、多様な他者と協働しながら、必要な資質・能力を育成することに適しているか。「協働的な学び」						
2	学習指導要領との関連	【目標】数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1)数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などを理解するとともに、日常の事象を数理的に処理する技能を身に付けるようにする。 (2)日常の事象を数理的に捉え見通しをもち筋道を立てて考察する力、基礎的・基本的な数量や図形の性質などを見だし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表したり目的に応じて柔軟に表したりする力を養う。 (3)数学的活動の楽しさや数学のよさに気付き、学習を振り返ってよりよく問題解決しようとする態度、算数で学んだことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。 この目標を達成する上において、効果的に編集されているか。						
3	(1)内容の選択	ア 各領域の目標達成のために、適切な内容が選ばれているか。 イ 各教材の意図を明確にし、学習の焦点化をするための配慮がされているか。 ウ 基礎的な内容の指導にあたって、適切な配慮がされているか。 エ 主体的な学習が進められるような教材の構成が、適切であるか。						
	(2)内容の程度	ア 学年の発達段階に応じた内容になっているか。 イ 児童が興味・関心をもって学習を進められるように教材が工夫されているか。 ウ 児童の理解の程度に応じて発展的な学習やつまずきやすい内容の繰り返し学習、補足的な学習についての配慮や工夫がされているか。 エ 数学的な活動が適切に位置付けられているか。						
	(3)内容の構成	ア 各領域の内容が系統的・発展的に組織されているか。 イ 各内容の配列や関連付けが適切であるか。 ウ 各内容及び各学年の分量の配分が適切であるか。						
4	学習の仕方への支援	ア 本文記述との適切な関連付けがなされたイラスト・写真などが活用されているか。 イ 文章は理解しやすく、簡潔で要領よく書かれているか。						
5	指導上の便宜	ア 単元の項目・展開・資料などが利用しやすくなっているか。 イ タブレットP Cを活用することで学習効果が上がるよう工夫されているか。						
6	印刷・造本等	ア 印刷の鮮明度、文字の大きさ、色彩等は適切であるか。 イ ユニバーサルデザイン化が図られているか。 ウ 造本の堅ろうさや体裁は適切であるか。						

<記入の仕方> 優（◎：特に優れている）、良（○：良い）で評価し、◎は各観点につき1個、○は各観点につき1個以上記入（小学校用）

観 点		着 眼 点	2 東 書	4 大 日 本	11 学 図	17 教 出	26 信 教	61 啓 林 館
1	「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実	ア 一人一人の特性や学習進度、学習到達度等に応じ、指導方法・教材や学習時間等の柔軟な提供・設定を行うことに適しているか。「指導の個別化」 イ 一人一人に応じた学習活動や学習課題に取り組む機会を提供することに適しているか。「学習の個性化」 ウ 探究的な学習や体験活動などを通じ、多様な他者と協働しながら、必要な資質・能力を育成することに適しているか。「協働的な学び」						
2	学習指導要領との関連	【目標】自然に親しみ、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象についての問題を科学的に解決するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1)自然の事物・現象についての理解を図り、観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 (2)観察、実験などを行い、問題解決の力を養う。 (3)自然を愛する心情や主体的に問題解決しようとする態度を養う。 この目標を達成する上において、効果的に編集されているか。						
3 内 容	(1)内容の選択	ア 「物質・エネルギー」の領域の内容は、その学年に適切なものが選ばれているか。 イ 「生命・地球」の領域の内容は、その学年に適切なものが選ばれているか。						
	(2)内容の程度	ア 「物質・エネルギー」の領域の内容は、その学年の児童に適合しているか。 イ 「生命・地球」の領域の内容は、その学年の児童に適合しているか。 ウ 補充的な学習や発展的な学習の内容は、その学年の児童に適合しているか。						
	(3)内容の構成	ア 内容は組織的であるか。 イ 内容の系統性ととも、育成を目指す資質・能力のつながりを意識した構成・配列となっているか。 ウ 補充的な学習や発展的な学習の内容は扱いやすく配列されているか。また、分量は適切であるか。 エ 日常生活や社会、他教科等との関連への配慮がされているか。						
4	学習の仕方への支援	ア 本文記述との適切な関連付けがなされたイラスト・写真などが活用されているか。						
5	指導上の便宜	ア 実験等における安全面について適切な配慮がなされているか。 イ 読み物資料などは、必要に応じて利用しやすいように取り入れられているか。 ウ タブレットP Cを活用することで学習効果が上がるよう工夫されているか。						
6	印刷・造本等	ア 印刷の鮮明度、文字の大きさ、色彩等は適切であるか。 イ ユニバーサルデザイン化が図られているか。 ウ 造本の堅ろうさや体裁は適切であるか。						

<記入の仕方> 優（◎：特に優れている）、良（○：良い）で評価し、◎は各観点につき1個、○は各観点につき1個以上記入（小学校用）

観 点		着 眼 点	2 東 書	4 大 日 本	11 学 図	17 教 出	26 信 教	38 光 村	61 啓 林 館
1	「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実	ア 一人一人の特性や学習進度、学習到達度等に応じ、指導方法・教材や学習時間等の柔軟な提供・設定を行うことに適しているか。「指導の個別化」 イ 一人一人に応じた学習活動や学習課題に取り組む機会を提供することに適しているか。「学習の個性化」 ウ 探究的な学習や体験活動などを通じ、多様な他者と協働しながら、必要な資質・能力を育成することに適しているか。「協働的な学び」							
2	学習指導要領との関連	【目標】 具体的な活動や体験を通して、身近な生活に関わる見方・考え方を生かし、自立し生活を豊かにしていくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1)活動や体験の過程において、自分自身、身近な人々、社会及び自然の特徴やよさ、それらの関わり等に気付くとともに、生活上必要な習慣や技能を身に付けるようにする。 (2)身近な人々、社会及び自然を自分との関わりで捉え、自分自身や自分の生活について考え、表現することができるようにする。 (3)身近な人々、社会及び自然に自ら働きかけ、意欲や自信をもって学んだり生活を豊かにしたりしようとする態度を養う。 この目標を達成する上において、効果的に編集されているか。							
3	(1)内容の選択	ア 教科の目標に照らして、内容の選択は適切であるか。 イ 地域の実態に応じて、多様な活動ができるような配慮がされているか。							
	(2)内容の程度	ア 内容の程度は、児童の発達段階に配慮されているか。 イ 児童の主体的な活動を促すような話題や題材の創意工夫がされているか。							
	(3)内容の構成	ア 各内容の構成や配列に、不統一や不要な重複がないように配慮されているか。 イ 各内容及び各学年の分量の配分が適切であるか。 ウ 補充的な学習や発展的な学習の内容は扱いやすく配列されているか。また、分量は適切であるか。 エ 幼児期の教育や各教科等との接続・関連に配慮されているか。							
4	学習の仕方への支援	ア 漢字、仮名遣い、記号、用語などは、児童に理解しやすいものになっているか。							
5	指導上の便宜	ア 具体的な活動を引き出すように、イラスト、写真、資料などが利用しやすく取り入れられているか。 イ タブレットP Cを活用することで学習効果が上がるよう工夫されているか。							
6	印刷・造本等	ア 印刷の鮮明度、文字の大きさ、色彩等は適切であるか。 イ ユニバーサルデザイン化が図られているか。 ウ 造本の堅ろうさや体裁は適切であるか。							

＜記入の仕方＞ 優（◎：特に優れている）、良（○：良い）で評価し、◎は各観点につき1個、○は各観点につき1個以上記入（小学校用）

観 点		着 眼 点	17 教 出	27 教 芸
1	「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実	ア 一人一人の特性や学習進度、学習到達度等に応じ、指導方法・教材や学習時間等の柔軟な提供・設定を行うことに適しているか。「指導の個別化」 イ 一人一人に応じた学習活動や学習課題に取り組む機会を提供することに適しているか。「学習の個性化」 ウ 探究的な学習や体験活動などを通じ、多様な他者と協働しながら、必要な資質・能力を育成することに適しているか。「協働的な学び」		
2	学習指導要領との関連	【目標】表現及び鑑賞の活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1)曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、表したい音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。 (2)音楽表現を工夫することや、音楽を味わって聴くことができるようにする。 (3)音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育むとともに、音楽に親しむ態度を養い、豊かな情操を培う。 この目標を達成する上において、効果的に編集されているか。		
3 内 容	(1)内容の選択	ア 教科の目標並びに学年の目標を達成するのに適切であるか。 イ 我が国や郷土の伝統や文化、児童の生活経験を踏まえて、興味・関心を高めるような配慮がなされているか。 ウ 音楽活動の基礎的な能力を身に付ける学習と、弾力的な運用・補充的な学習や発展的な学習についての配慮がなされているか。		
	(2)内容の程度	ア 学年の発達段階や興味に照らして適切であるか。 イ 音楽活動の基礎的な能力を身に付けるのに適切な選曲・編曲であるか。 ウ 補充的な学習や発展的な学習の内容は適切であるか。		
	(3)内容の構成	ア 内容が発展的・系統的に組織立てられているか。 イ 教材の配列や補充的な学習、発展的な学習の分量及び領域間の関連は適切であるか。		
4	学習の仕方への支援	ア 楽譜や本文との適切な関連付けがなされたイラストや写真などが使われているか。		
5	指導上の便宜	ア 内容が分かりやすく利用しやすいように配慮されているか。 イ タブレットP Cを活用することで学習効果が上がるよう工夫されているか。		
6	印刷・造本等	ア 印刷の鮮明度、文字の大きさ、色彩等は適切であるか。 イ ユニバーサルデザイン化が図られているか。 ウ 造本の堅ろうさや体裁は適切であるか。		

＜記入の仕方＞ 優（◎：特に優れている）、良（○：良い）で評価し、◎は各観点につき1個、○は各観点につき1個以上記入（小学校用）

観 点		着 眼 点	9 開 隆 堂	116 日 文
1	「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実	ア 一人一人の特性や学習進度、学習到達度等に応じ、指導方法・教材や学習時間等の柔軟な提供・設定を行うことに適しているか。 「指導の個別化」 イ 一人一人に応じた学習活動や学習課題に取り組む機会を提供することに適しているか。「学習の個性化」 ウ 探究的な学習や体験活動などを通じ、多様な他者と協働しながら、必要な資質・能力を育成することに適しているか。「協働的な学び」		
2	学習指導要領との関連	【目標】表現及び鑑賞の活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の形や色などと豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1)対象や事象を捉える造形的な視点について自分の感覚や行為を通して理解するとともに、材料や用具を使い、表し方などを工夫して、創造的につくったり表したりすることができるようにする。 (2)造形的なよさや美しさ、表したいこと、表し方などについて考え、創造的に発想や構想をしたり、作品などに対する自分の見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。 (3)つくりだす喜びを味わうとともに、感性を育み、楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養い、豊かな情操を培う。 この目標を達成する上において、効果的に編集されているか。		
3 内 容	(1)内容の選択	ア 図画工作科の目標に合わせて、造形遊び、絵・立体の内容が適切に選ばれているか。 イ 表現及び鑑賞に関する資質・能力を相互に関連させた学習が充実するよう配慮されているか。 ウ 日本や地域の伝統や文化、現代社会の変化を踏まえた題材や教材が扱われているか。 エ 他教科等との関連を考慮して、適切に選ばれているか。		
	(2)内容の程度	ア 形や色、イメージなどに関する児童の発達の特性に配慮されているか。 イ 児童の生活経験や興味関心、生活とのつながりについて考慮されているか。 ウ 一般的な施設や設備の学校で扱えるように配慮されているか。 エ 児童の発想に対応できる多様な表現や材料や道具の扱いについて配慮されているか。		
	(3)内容の構成	ア 内容が発展的、系統的に配列されているか。 イ 各内容の分量や配列、関連付けが適切であるか。 ウ 主体的に表現したり、鑑賞したりする活動を引き出すような作品や材料・技法等が適切に配列されているか。 エ 創造的な発想や構想をしたり、造形的な見方や考え方を深めたりできるよう作品や材料などが適切に示されているか。		
4	学習の仕方への支援	ア 文章は簡明、具体的で理解しやすいか。 イ 作品や図版、写真などは本文との適切な関連付けがされており鮮明であるか。		
5	指導上の便宜	ア 目次や索引、注、凡例、諸表、資料などは利用しやすいか。 イ 作品や図版、写真などに適切な説明がされているか。 ウ タブレットP Cを活用することで学習効果が上がるよう工夫されているか。		
6	印刷・造本等	ア 印刷の鮮明度、文字の大きさ、色彩等は適切であるかどうか。 イ ユニバーサルデザイン化が図られているか。 ウ 造本の堅ろうさや体裁は適切であるか。		

＜記入の仕方＞ 優（◎：特に優れている）、良（○：良い）で評価し、◎は各観点につき1個、○は各観点につき1個以上記入（小学校用）

観 点		着 眼 点	2 東 書	9 開 隆 堂
1	「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実	ア 一人一人の特性や学習進度、学習到達度等に応じ、指導方法・教材や学習時間等の柔軟な提供・設定を行うことに適しているか。「指導の個別化」 イ 一人一人に応じた学習活動や学習課題に取り組む機会を提供することに適しているか。「学習の個性化」 ウ 探究的な学習や体験活動などを通じ、多様な他者と協働しながら、必要な資質・能力を育成することに適しているか。「協働的な学び」		
2	学習指導要領との関連	【目標】生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、生活をよりよくしようと工夫する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 家族や家庭、衣食住、消費や環境などについて、日常生活に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。 (2) 日常生活の中から問題を見いだして課題を設定し、様々な解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなど、課題を解決する力を養う。 (3) 家庭生活を大切にすることの心情を育み、家族や地域の人々との関わりを考え、家族の一員として、生活をよりよくしようと工夫する実践的な態度を養う。 この目標を達成する上において、効果的に編集されているか。		
3 内 容	(1) 内容の選択	ア 学習の目標を達成するうえで、適切な内容が選ばれているか。 イ 学習した知識及び技能を生活に活用したり、社会や家庭生活の変化に対応したりする内容が、必要に応じて選ばれているか。 ウ 他教科等との関連及び各内容の関連を考慮し、適切に内容が選ばれているか。		
	(2) 内容の程度	ア 本文・挿絵・写真・図表・問題・補充的な学習や発展的な学習の内容等は、児童の生活経験、興味・関心に適応するように配慮されているか。 イ 児童の生活経験や実態に配慮されているか。		
	(3) 内容の構成	ア 内容が発展的・系統的に組織されているか。 イ 各内容の配列や分量は適切であるか。 ウ 実習や調査、実験等は適切に配列されているか。 エ 季節や行事、地域等との関連が考慮されているか。		
4	学習の仕方への支援	ア 本文記述との適切な関連付けがなされた図表等が用いられ、表記・表現は適切であるか。 イ 文章は、児童に理解しやすく簡潔に書かれているか。		
5	指導上の便宜	ア さし絵・写真・図表等は、見やすく使いやすい工夫がされているか。 イ 統計等には、必要に応じて出所・出典が示されているか。 ウ タブレットP Cを活用することで学習効果が上がるよう工夫されているか。		
6	印刷・造本等	ア 印刷の鮮明度、文字の大きさ、色彩等は適切であるかどうか。 イ ユニバーサルデザイン化が図られているか。 ウ 造本の堅ろうさや体裁は適切であるか。		

<記入の仕方> 優（◎：特に優れている）、良（○：良い）で評価し、◎は各観点につき1個、○は各観点につき1個以上記入（小学校用）

観 点		着 眼 点	2 東 書	4 大 日 本	50 大 修 館	207 文 教 社	208 光 文	224 学 研
1	「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実	ア 一人一人の特性や学習進度、学習到達度等に応じ、指導方法・教材や学習時間等の柔軟な提供・設定を行うことに適しているか。「指導の個別化」 イ 一人一人に応じた学習活動や学習課題に取り組む機会を提供することに適しているか。「学習の個性化」 ウ 探究的な学習や体験活動などを通じ、多様な他者と協働しながら、必要な資質・能力を育成することに適しているか。「協働的な学び」						
2	学習指導要領との関連	【目標】体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を見付け、その解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1)その特性に応じた各種の運動の行い方及び身近な生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な動きや技能を身に付けるようにする。 (2)運動や健康について自己の課題を見付け、その解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。 (3)運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、楽しく明るい生活を営む態度を養う。 この目標を達成する上において、効果的に編集されているか。						
3	(1)内容の選択	ア 目標達成のために、適切な内容が選ばれているか。 イ 児童の生活や経験に適応する身近な内容が選ばれているか。 ウ 学習を進める上で適切な内容の資料が選ばれているか。						
	(2)内容の程度	ア 児童の発達段階に配慮されているか。 イ 興味・関心をもって読み進められるように話題や題材の創意工夫がなされているか。 ウ 補充的な学習や発展的な学習の内容は適切に提示されているか。						
	(3)内容の構成	ア 主体的に学習が進められるように構成されているか。 イ 補充的な学習や発展的な学習の内容を含め、各内容が系統的・発展的に構成されているか。 ウ 各内容、補充的な学習や発展的な学習の内容の分量は適切であるか。						
4	学習の仕方への支援	ア 文章は、児童に理解しやすく簡潔に書かれているか。 イ 写真・統計などは、児童の学習を支援するように工夫されているか。						
5	指導上の便宜	ア さし絵・写真・図表等は、見やすく使いやすい工夫がされているか。 イ 統計等には、必要に応じて出所・出典が示されているか。 ウ タブレットP Cを活用することで学習効果が上がるよう工夫されているか。						
6	印刷・造本等	ア 印刷の鮮明度、文字の大きさ、色彩等は適切であるかどうか。 イ ユニバーサルデザイン化が図られているか。 ウ 造本の堅ろうさや体裁は適切であるか。						

＜記入の仕方＞ 優（◎：特に優れている）、良（○：良い）で評価し、◎は各観点につき1個、○は各観点につき1個以上記入（小学校用）

観 点		着 眼 点	2 東 書	17 教 出	38 光 村	116 日 文	208 光 文	224 学 研
1	「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実	ア 一人一人の特性や学習進度、学習到達度等に応じ、指導方法・教材や学習時間等の柔軟な提供・設定を行うことに適しているか。「指導の個別化」 イ 一人一人に応じた学習活動や学習課題に取り組む機会を提供することに適しているか。「学習の個性化」 ウ 探究的な学習や体験活動などを通じ、多様な他者と協働しながら、必要な資質・能力を育成することに適しているか。「協働的な学び」						
2	学習指導要領との関連	【目標】よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。 この目標を達成する上において、効果的に編集されているか。						
3	(1) 内容の選択	ア 児童の発達の段階を考慮し、内容項目が四つの視点から関連的、発展的に配列され、分量や内容が適切に選択されているか。 イ 生命の尊厳、自然、伝統と文化、先人の伝記、スポーツ、情報化への対応等の現代的な課題や、郷土の歴史や文化などを教材とした内容が適切に選択されているか。						
	(2) 内容の程度	ア 児童の発達の段階に即し、ねらいを達成するのにふさわしい内容や表現になっているか。 イ 人間尊重の精神にかなうものであり、悩みや葛藤等の心の揺れ、人間関係の理解等も含め、児童が深く考えることができ、人間としてよりよく生きる喜びや勇気を与えられる内容となっているか。 ウ 多面的・多角的な見方や考え方ができるような教材を取り扱い、見方や考え方に偏りのない内容となるよう配慮されているか。						
	(3) 内容の構成	ア ねらいとする内容項目に関連するコラムや名言及び格言の系統・配列・分量は適切か。 イ 言語活動及び問題解決的な学習や体験的な学習等の多様な学習に対応できるような内容構成となっているか。 ウ 振り返りの学習や評価に関わる内容が適切に設定されているか。						
4	学習の仕方への支援	ア 児童の興味・関心・意欲を高めるような、適切な表記・表現がされているか。 イ 本文記述と挿絵・イラスト・写真・図表などが適切に関連付けられているか。						
5	指導上の便宜	ア 漢字・仮名遣い・記号・用語・人名・地名・国名などは適切であり、統一されているか。 イ 目次・注・写真・教材と内容項目との関連図・資料などが必要に応じて用意されているか。						
6	印刷・造本等	ア 印刷の鮮明度、文字の大きさ、色彩等はどうか。 イ ユニバーサルデザイン化が図られているか。 ウ 造本の堅ろうさや体裁は適切であるか。						

＜記入の仕方＞ 優（◎：特に優れている）、良（○：良い）で評価し、◎は各観点につき1個、○は各観点につき1個以上記入（小学校用）

観 点		着 眼 点	2 東 書	9 開 隆 堂	15 三 省 堂	17 教 出	38 光 村	61 啓 林 館
1	「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実	ア 一人一人の特性や学習進度、学習到達度等に応じ、指導方法・教材や学習時間等の柔軟な提供・設定を行うことに適しているか。「指導の個別化」 イ 一人一人に応じた学習活動や学習課題に取り組む機会を提供することに適しているか。「学習の個性化」 ウ 探究的な学習や体験活動などを通じ、多様な他者と協働しながら、必要な資質・能力を育成することに適しているか。「協働的な学び」						
2	学習指導要領との関連	【目標】外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、話すことの言語活動を通して、コミュニケーションを図る素地となる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1)外国語を通して、言語や文化について体験的に理解を深め、日本語と外国語との音声の違い等に気付くとともに、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しむようにする。 (2)身近で簡単な事柄について、外国語で聞いたり話したりして自分の考えや気持ちなどを伝え合う力の素地を養う。 (3)外国語を通して、言語やその背景にある文化に対する理解を深め、相手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。 この目標を達成する上において、効果的に編集されているか。						
3	(1)内容の選択	ア 実際の言語の使用場面や言語の働きに配慮した言語材料及び題材の選択は適切か。 イ 外国の人々及び日本人の日常生活・風俗習慣・文化・ものの見方・考え方などに関するものを含めて、国際理解に役立つ題材が適切に取り上げられているか。 ウ 英語の学習に対する興味・関心や意欲を高めるような内容の工夫がされているか。						
	(2)内容の程度	ア 外国語活動の内容を繰り返し活用しつつ、広がりのある話題を設定するなど、外国語活動との関連が図られているか。 イ 外国や日本の生活の文化及び習慣について理解を深めるとともに、言語や文化への関心を高めるよう工夫されているか。 ウ 文及び文構造については、言語活動の中で基本的な表現として繰り返し触れるような工夫がされているか。						
	(3)内容の構成	ア 教材が系統的に組み立てられ、その配列や関連付けが適切であるか。 イ 音声に十分に慣れ親しんだ後に、「読むこと」「書くこと」の言語活動に取り組めるよう工夫されているか。 ウ 丁寧な文字指導や読み書きの指導ができるよう構成されているか。						
4	学習の仕方への支援	ア 児童の興味・関心・意欲を高めるような、適切な表記・表現がされているか。 イ 本文記述と挿絵・イラスト・写真・図表などに適切な関連付けがされているか。						
5	指導上の便宜	ア 音声・符号などの学習に配慮がされているか。 イ 目次・索引・注・凡例・諸表・資料などが、必要に応じて用意されているか。 ウ タブレットP Cを活用することで学習効果が上がるよう工夫されているか。						
6	印刷・造本等	ア 印刷の鮮明度、文字の大きさ、色彩等はどうか。 イ ユニバーサルデザイン化が図られているか。 ウ 造本の堅ろうさや体裁は適切であるか。						

＜記入の仕方＞ 優（◎：特に優れている）、良（○：良い）で評価し、◎は各観点につき1個、○は各観点につき1個以上記入（小学校用）